

若年性認知症の方への支援の実際について

参加費
無 料

若年性認知症とは 65歳未満で発症する認知症を指し、約3割は 50歳未満（平均 51.3歳）で発症しています。これは仕事や家事などの活動に影響し、本人のみならず家族にも身体的、精神的、経済的に大きな負担が生じます。しかし社会的な理解は進んでいません。

関係者には正しい理解と支援のすそ野を広げていく取組みが求められています。



1 日時

令和元年9月19日（木）14:00～16:45（開場13:30～）

2 会場

横浜ラポール ラポールシアター（横浜市港北区鳥山町1752）

JR横浜線「新横浜駅」（北口）／横浜市営地下鉄「新横浜駅」（8番出口）から徒歩約10分

3 対象者

若年性認知症の方への支援にかかわる横浜市内の関係機関に所属されている方

医療機関、相談機関、ハローワーク、労務関係機関（神奈川県域）、

認知症の人と家族の会、地域包括支援センター、区福祉保健センター等。

4 定員 300人

5 研修内容

時間	内容・講師
13:30	開場
14:00	オリエンテーション
14:05	横浜市の認知症施策 健康福祉局高齢在宅支援課
14:10	若年性認知症支援コーディネーターの役割 若年性認知症支援コーディネーター 村井 キヌ工（横浜市総合保健医療センター）
14:45	若年性認知症の本人の気持ち、家族の気持ち 当事者 原 隆雄氏 家族 三橋 良博氏（認知症の人と家族の会神奈川県支部）
15:25	休憩
15:35	若年性認知症の人が利用する制度～社会保険を中心に～ ボラリスコンサルティング副代表 社会保険労務士 坂野 宏光氏
16:45	終了

6 申し込み方法

受付は先着順となります。申込書に必要事項を記入し、9月13日（金）17時までに、FAXにてお申込みください。

《申込先》 別紙研修申込書をご利用ください。送信状は不要です。

FAX番号：045-475-0101（横浜市総合保健医療センター 総合相談室）

«申込先»FAX 番号 : 045-475-0101

→横浜市総合保健医療センター総合相談室 鈴木・村井 宛て

(送信票は不要です。この用紙のみ送信して下さい。)

9/19 若年性認知症の方への支援の実際について

研修参加申込書

法人名	
機関名・施設名	
電話番号	

	お名前	ご所属	職種
1			
2			
3			

受講にあたり介助等の配慮が必要な場合は、下記に具体的に御記入下さい。

お問合せ可能な電話番号
()

いただいた個人情報は、当研修会以外に使用することはありません。

【主催】公益財団法人横浜市総合保健医療財団

【共催】横浜市健康福祉局高齢在宅支援課